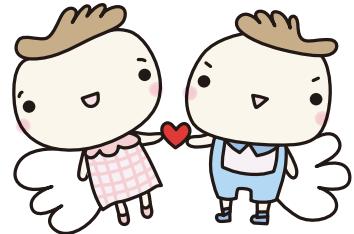


てとて

tetate



写真：お茶の間フォトコンテスト最優秀作品
『外は流しそうめん、中は桶でそうめん』

大野木長寿村まちづくり会での一コマ。外で賑やかに流しそうめんをする子どもたちを横目で、お年寄りたちは涼しい室内で寿司桶にそうめんを浮かべ、ゆったりと食事をしている様子です。
詳しい内容はP9をご覧ください。

特集

誰もが認め合い働き甲斐のある地域に。。。
～障がい者が働く現場から考える～

連載

『地域の宝物再発見！』

誰もが認め合い働き甲斐のある地域に・・・ ～障がい者が働く現場から考える～

支える支えられるという関係を超えて、誰も排除されず共に暮らす地域づくりが求められています。

そのような中、障がいがあつても企業で働き地域で暮らす方が増えています。企業はどのようにその環境を整え、共に働く場づくりをすすめておられるのか取材してきました。

三菱ケミカル株式会社様

どのような障がいのある方を雇用されていませんか？

山東地区では十一名の方に働いていただいているが、八名の方が精神障がい、二名の方が知的障がい、一名の方が身体障がいをお持ちです。事務支援を中心に行つて、メインの業務は開発書類を検索しやすいようにデータ整理する作業です。（PDF化作業）

雇用する前と後の感想、思い、違いはありますか？

当初思っていた以上に優秀で、仕事に集中する能力も高い方が多いです。

また、ひとくちに精神障がいといつてもさまざまな特性を持つた方がいるということも強く感じました。

一緒に働くうえで工夫していること、大切にしていることはなんですか？

以前は他の部署が同居する執務スペースでしたのが、話し声や電話の音がストレスになつたため専用の執務室を用意しました。また他者の視線や仕草が気にならないようにそれぞれのデスク周りにパネルを設置した半個室の状況を作っています。体調が悪くなつたときに休めるように、健康支援室の一部を使用できるようにしています。

勤務時間も当初はフルタイムを設定していましたが面接会で話をする中で、就労意欲もあり、能力も高いのに長時間の労働は厳しいといった方と多く出会いました。そのため個々人で労働時間を決めて契約をし、それぞれの目標時間に向かって延ばしていけるように取り組んでもらっています。

また、さまざまな特性を持つた方がいますが、全員に一律にスピードを求めるようにしています。急ぎの作業をお願いすると間違いが起こる確率も増えますし、そうすると気分が落ち込んで体調不良に繋がる方もおられます。それの方の業務量は把握していますが、極端に業務量に差が出ない限り、やり方は各自に任せています。

また、得意な分野の仕事をできる限り担当してもらえるように事業所内でさまざまな業務を募り対応しています。

雇用して良かつた点はなんですか？

何よりも生き生きと仕事をしていることです。成果も出て、依頼先の部署から感謝もされます。



パネルで仕切られた執務室



米原市内某企業様

どのような障がいのある方を雇用されていましたか？

知的障がいの方、発達障がいの方、身体障がいの方が就労され、それぞれ違う部署で働いていただけではなく、複数の部署のサポートが行える仕組みを作り、荷物の集配や簡単なデータ入力などをしていただいている。

雇用する前とした後の感想、思い、違いはありましたか？

発達障がいの方になりますが当初、コミュニケーションが苦手とお聞きしていたため不安もありました。しかし実際に入社され、挨拶はもちろん、分からぬことに対するはしつかり質問もでき、当初不安に感じていたこととの違いがありました。

一緒に働くうえで、工夫していること、大切にしていることはなんですか？

業務の期日管理や優先順位付けが苦手なため、ポストイットなどを使って業務リストを見る化し、優先順位の高い順に並べ、必要に応じて並べ替えを行います。また、進捗状況を確認しながら、本人が出来る範囲で業務の調整をしています。

また仕事をする上で注意することも勿論ありますが、その場で注意しないと何に注意されているかが分からないので、場面に居合わせていない時は注意しないようにしています。

日々時間によつて気分のムラがありますが、事務所内ではお菓子や飲み物の飲食を許可し少しでも気分転換が図れるような環境づくりも行っています。



雇用して良かった点はなんですか？

色々な仕事をしてもらえた部署からも助かっているという言葉をよく聞きます。

障がい者雇用をする中で会社だけでは本人の障がい特性としてどのような関わりが必要なのか分からぬ事も多くあります。就労支援センターがあることでアドバイスを受け理解することもできています。また定期的に訪問され仕事以外の話も織り交ぜながら会話もしてくださり本人もリフレッシュすることができていると感じます。今後も就労支援センターと密に連携し、障がいのある方を受け入れる事は企業にとつても本人にとってもいい事だと感じています。

おわりに…

障がいのある方は、障がいがあることで誤解され、生き辛さを感じてしまつている方も少なくありません。そしてこのことが、「本人の暮らしに様々な影響を与えてしまつていることもあります。

平成二十八年に障害者差別解消法が施行され、今年で三年がたとうとしています。「障がいがある人による」から、「障がいは社会が生み出している」と「障がい」の考え方の大きな転換が示されました。

今回のインタビューで実感したことは、

「その人の持つてゐる力を發揮できるよう環境を整えること」

「障がいに対する誤解や理解不足を解消していくことが大切である」ということです。

このような考え方や工夫は、私たちが暮らす地域社会でも同じことが言えるのではないでしょうが。誰も排除しない、障がいがある人もない人も互いにその人らしさを認めあう地域づくりについて、お互いが関わりを持ち、理解しあえりを絆くつむきが求められる機会づくりが求められているのではないかと感じました。



連載

地域の宝物 再発見！

「宝物」とは地域の支え合いやつながりを深めていること。しかし、普段あまり意識していないので、その大切さに気づいていません。

そこでみなさんの地域へ伺い、地域の宝物と一緒に探し、再発見していきたいと思います。

山東地域 長岡自治会の宝物 ～みんなが地域を知る仕組み、区報ながおか～

今回、福祉懇談会の場をお借りして、長岡の宝物について参加者の皆さんからお話を伺いました。

長岡には、二百年以上続く松明祭りや野上祭などの神事をはじめとした伝統行事、ほたる祭りやふれあい体育祭、いきいきふれあいサロンやウォーキングや団碁などのクラブ活動など多様な交流事業が、地域住民同士の顔の見える関係づくりにつながっており、行事のひとつひとつが地域の大好きな宝物であると伺いました。

しかし最近では、生活様式の変化や高齢化などにより、行事に参加したくても参加できない方が増えてきたため、



すると懇談会の参加者から「区報は隅から隅まで読んでいる。すごく面白い」、「お年寄りはどの広報物よりも一番に読んでいる」との声が挙がり、見やすいレイアウトであることや、事業報告についても由来や歴史など丁寧に書かれていること、読み手の関心を惹くさまざまな工夫や魅力がどんどん出てきます。



地域福祉懇談会の様子

参加者の皆さんから区報の魅力を伺いました

いつの間にか区報のことで話が持ちきりになった時、「地域にある様々な交流事業ももちろん大切だけど、その魅力を伝える区報も大切な宝物だね」ということになりました。

地域住民同士がつながる行事は大切な地域の宝物。参加できない方は区報で情報を知ることで、自分も地域の一員であることや、地域のつながりの大切さを感じてもらえる大切な取り組みであると感じました。

区報で事業の様子を伝えるようになつたそうです。

すると懇談会の参加者から「区報は隅から隅まで読んでいる。すごく面白い」、「お年寄りはどの広報物よりも一番に読んでいる」との声が挙がり、見やすいレイアウトであることや、事業報告についても由来や歴史など丁寧に書かれていること、読み手の関心を惹くさまざまな工夫や魅力がどんどん出てきます。

伊吹地域 甲津原自治会の宝物

～雪深さは団結力を育むミソ～

米原市甲津原は、奥伊吹スキー場があり、米原市において随一の雪深い地域として知られています。今回は、冬支度をされている十一月、民生委員さん、福祉委員さんに甲津原交流センターへ集まつていただき、甲津原の魅力をお聞きしました。

「甲津原の良さは何事もみんなで助け合う団結力じや」と話すのは、民生委員の草野さん。甲津原は、平家の落ち武者の隠れ里と言われ、方言で語尾に「じや」をつける侍（さむらい）言葉をよく使われます。そんな言葉に力強さを感じます。

雪深い地域で、いろんなところで助け合って暮らしているという甲津原。



漬物加工部がある甲津原交流センター

地域の総普請でお寺の雪廻いを作り、また、一人で除雪が大変な人がいれば助け合つて対応されます。

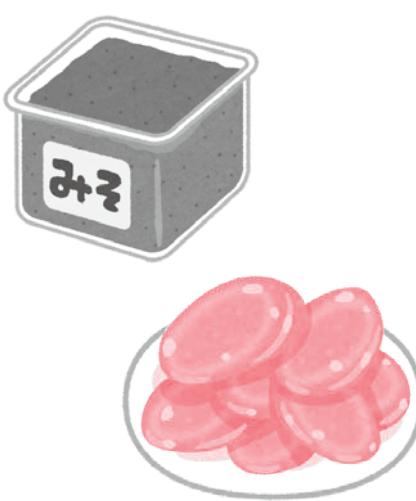
そして、甲津原には、特産品のお漬物やお味噌の加工販売をされている甲津原漬物加工部があります。加工部ができる前は、各家で味噌加工の機械を貸し合っていたそうです。お寺の法恩講ではそのできた自家製味噌を持ち寄つて大根を炊いて交流されていました。

甲津原の良さである団結力は、味噌づくりをはじめとした助け合いの文化



雪がたくさん降っている冬の甲津原の風景

からくるものではないかと感じました。美味しいお漬物やお味噌を買いがてら甲津原に行つてみてください。あつたかい方々に触れ合えるかもしれません。



お話を聞いた皆様、サロンでいつもお会いします

米原地域 米原自治会の宝物

～曳山祭りでつながる地域～

米原自治会では町内で盆踊りや文化祭、サロン等、つながる場所がたくさんあります。その中でも今回は曳山祭りについて詳しくお話をしてくださいました。

曳山祭りは二百年以上続く伝統的なお祭りで、舞台付きの山車で子ども歌舞伎の上演を中心としたお祭りです。「曳山祭りは子どもから大人まで、町中が盛り上がる自慢の宝物」と山川さんが話をしてくれました。

祭りは十月に行われますが、準備は四月頃から始まります。子ども歌舞伎の練習は八月からスタートし、放課後から夜遅くまで練習が続きます。山川



今回お話ししてくださった3人
左から田中さん 自治会長坂倉さん 山川さん



曳山祭りを音で支えるしゃぎり



山車の上で演技をする子どもたち



役者さんのお披露目を見ていただく御渡り
地域のさまざまな方が参加されています

さんは「練習をしていると子どもたちはどんどん成長していく。その成長を祭りに関わるみんなで感じることができるのは何よりの楽しみ」と話されました。自治会長の坂倉さんからも「祭りが終わつた後でも“おっちゃんこんにちは”と言つてくれる。子どもにとつて祭りをする前はただの近所の人だったのが、祭りで関わつたことで親しい関係ができたのかなと感じた」とお話をされました。「しゃぎりの保存会が

あつて年中子どもたちも大人も集まっている。そういうこともみんながつながる大切なことかな」と田中さん。曳山祭りの話はつきることなく、たくさんのエピソードを教えていただきました。

歴史あるお祭りを通して地域のつながりや絆を深めている米原自治会。歴史をつなげるだけでなく、曳山祭りは関わる人と地域をつなげている大切な宝物だと感じました。

近江地域 近江母の郷 ニュータウン 自治会の宝物

～子どもの参加を大切に～

地域のあちこちで
子どもをお菓子でお出迎え



今回、近江母の郷ニュータウン自治会（以下母の郷自治会）の役員の方々に集まつていただき、地域の宝物について話をしていただきました。

母の郷自治会は発足して二十年の自治会です。神社やお寺などはなく、自治会が出来た当時は行事もほとんどありませんでした。そんな中、「自分達の地域でも何かできないか」との思いから様々な行事が始まつたそうです。行事には作品展やハロウィン、タ涼み会、新春の餅つき大会などがあり、どの行事にも子どもが中心となりながらたくさんの方が参加されています。

お話を聞きしていると、どの行事も大切な宝物だとお話されました。そ



お菓子をもらい地域の方々と交流



シニアの皆さんのが餅のつき方を伝授します

んな中で福祉推進員の小尾さんは「どの行事も子どもが参加できるように工夫し、大人と一緒に参加している。行事がきっかけとなり地域でのお付き合いの輪が広がってきた」とのこと。民衆委員の重吉さんからは「ハロウィンもお菓子をいただく時にあいさつやお礼を言う。餅つきも食べるだけでなく、昔からの伝統“餅をつく”ことがどんなことかも伝えている。子どもには楽しむだけなく人と関わる大きさを感じてもらいたい」とお話をされました。子どもが参加しやすくなることで、

母の郷自治会では「子ども」の参加を大切にすることで地域のつながりが深まっているのだと感じました。行事には地域のみんなが集まり、また地元を離れている方々にとつても戻つて来るややすい場所があることが母の郷自治会の宝物だと教えてくださいました。



優秀な作品には自治会長から表彰

米原市社会福祉大会開催

平成30年12月2日(日)
滋賀県立文化産業交流会館

第13回目となる米原市社会福祉大会は、日ごろから地域福祉やボランティア活動を実践されている方など、延べ618名の参加のもと、盛大に開催することができました。

竜巻災害からこれからの福祉のまちづくりを考える



コーディネーター 空閑浩人氏
同志社大学社会学部
社会福祉学科教授

自治会長、民生委員児童委員、関係機関をパネリストに招き、当時の状況を振り返りながら、それぞれの立場においてどのような対応を行ったのかご報告いただきました。地域の中で、普段からのつながりの大切さを改めて考える機会となりました。



分科会

第1分科会 認知症でも笑顔のままで

若年性認知症当事者山田真由美さんから地域での暮らし方をお話いただきました。

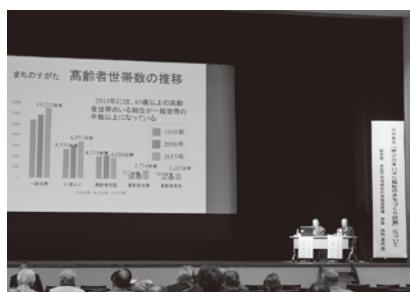
(企画：ほっとネットまいばら)
(協力：MTR40米原多職種連携の会)



中間報告

第2次まいばら福祉のまちづくり計画について

報告者：米原市地域福祉計画推進会議
会長 西秋清志氏



市民みんなで福祉のまちづくりについて協議してきたことをご報告いただきました。この計画をもとに（平成31年3月策定予定）地域共生社会の実現に向けて、市民みんなで取り組みを進めています。

第3分科会 みんなで考えようこころの健康 ～理解し合い、支え合える まちを目指して～

精神疾患があり、しんどさを抱えながらも前向きに歩まれている当事者の姿を知ることができました。

(企画：米原市健康づくり課)



展示ブース紹介

ホール内では、福祉サービス事業所・福祉活動団体の紹介、市内園児によるぬり絵展示、防災食の試食や避難所体験ブースなどを設置しました。

避難所体験ブースは、今後社協各センターで設置予定です。ぜひお立ち寄りください。



表彰・感謝

(順不同 敬称略)

表彰：社会福祉活動の発展向上に寄与しその功績が顕著な団体・個人の方々です。

社会福祉活動が 特に優秀な個人

- ・宮部 道雄
- ・藤田 安子
- ・重吉 豊
- ・戸田 善衛
- ・谷利 美代子
- ・清水 登志子

社会福祉活動が特に優秀な グループ、団体、自治会

- ・米原市キャラバンメイト
- ・音訳ボランティア『えん』
- ・おうみ地域防犯安全パトロール隊
- ・山室自治会
- ・賀目山自治会
- ・大清水自治会
- ・新庄自治会

感謝：社会福祉活動に協力援助するため、善意銀行への高額な寄付や、米原市社会福祉協議会の特別会費による貢献顕著な協力者の方々です。

- ・三菱ケミカル労働組合
滋賀支部山東分会
- ・扶桑工業株式会社
- ・東黒田仏教会
- ・匿名 2名

雪どけ、助けてくれませんか？

除雪ボランティア活動参加者募集

米原市内での大雪災害に備えての、除雪ボランティア活動体験会です。当日は、実際に雪どけに困っておられる場所でのお手伝いをします。みなさんぜひご参加ください。

日 時：2月23日（土）9時～13時

持 ち 物：防寒着、手袋、長靴

集合場所：伊吹健康プラザ愛らんど（米原市春照56）

参 加 費：700円（高校生以下300円）

内 容：除雪作業、防災食 de 交流会

申込締切：2月20日（水）

申 込 先：各地域福祉活動センター まで

※積雪が少ない場合

除雪道具の使い方講習会や、降雪が多い地域で暮らすお宅へ積雪対策の見学会を開催します。

※悪天候のため中止の場合

前日22日の17時の時点で決定し連絡いたします。

※防災食de交流会では、昼食として地元の保存食が入ったお弁当を食べながら交流したいと思います。また、防災甘味食いざせん、サバイバルフード防災スープの試食ができます。

自力で雪どけできない
方の役に立ちたい！



雪が多い地域で
どんな風に暮らして
いるのか知りたい！

『お茶の間フォトコンテスト』を開催しました！



12月17日（月）に、地域お茶の間創造事業活動団体情報交換会において『お茶の間フォトコンテスト』を開催、各団体が1年を振り返り、写真とともに印象のある思い出について報告いただきました。プロジェクターに映し出された写真を見て、参加者の笑顔や笑い声に包まれながら、参加いただいた12団体それぞれの魅力や取り組みが伝わる機会となりました。最後には参加者による投票を行い、最優秀賞には大野木長寿村まちづくり会さん、優秀賞・お茶の間賞には河内区福祉委員会さんが選ばれました。



映し出された写真に
参加者もにっこり

コンテストには米原市長、社会福祉協議会
会長等もゲストとして参加いただきました

受賞された2団体。魅力ある活動を
お伝えいただきありがとうございました



平成30年度共同募金運動報告

みなさまのあたたかいご支援、ご協力ありがとうございました

共同募金総額

10,695,036 円

赤い羽根募金

6,961,201円



歳末たすけあい募金

3,733,835円



○戸別	5,305,247円
○駅、店舗前	121,181円
○職域	260,207円
○個人	159,700円
○企業、商店	578,000円
○学校	332,602円
○イベント	116,470円
○その他	87,794円

<使いみち>

- この募金は平成31年度に実施される、さまざまな福祉活動やボランティア活動を支えるために役立てさせていただきます。
- 小地域福祉活動
 - 広報誌（社協まいばらてとて）の発行
 - ボランティア活動の支援他

<使いみち>

- この募金は平成30年度の地域福祉事業や歳末時期に個人および当事者団体へ配分させていただきました。
- | | |
|---------------|------------|
| ○個別配分 | 3,096,000円 |
| ○当事者配分 | 120,000円 |
| ○火災警報器設置・点検事業 | 292,000円 |
| ○学習支援事業 | 800円 |
| ○次年度事業へ繰越 | 225,035円 |

法人募金として下記の事業所よりご協力をいただきました。

(順不同 敬称略)

有限会社赤堀新聞舗
株式会社旭ハウジング
有限会社伊吹・旬彩
有限会社伊吹金属
有限会社大野造園
カーメンテナンスオオツカ
有限会社粕渕設備
有限会社北川モータース
木村工務店
協栄自動車
株式会社清原織物
草野モータース
有限会社小林屋
小林養鱒場
有限会社坂田園芸センター
三黄通運株式会社
三軌工業株式会社
滋賀鉱産株式会社
柴田医院
有限会社白谷木材
社会福祉法人大樹会
有限会社高木製作所
竹中駐車場
立木与三郎商店
谷孫料理店
地域包括ケアセンターいぶき
塙田医院

有限会社坪井農具製作所
株式会社電化のミヤザキ
東湖産業株式会社
株式会社童夢
中西石油株式会社
長浜信用金庫米原支店
長浜セレモニー・ウィズユー近江
長浜葬祭有限会社
西川自動車株式会社
にのみや歯科医院
日本ソフト開発株式会社
長谷川事務所
有限会社羽渕石油
有限会社伴自動車
びわこ産業株式会社
有限会社福永石油
藤公認会計士事務所
フジモト
扶桑工業株式会社
古澤税理士事務所
株式会社ベースワン
堀川石材店
米原市山東工場部会

- ・アコース株式会社
- ・株式会社アルナ矢野特車
- ・内堀鉱業株式会社
- ・近江鉱業株式会社

・柏原工業株式会社
・株式会社KOHOKU
・三友エレクトリック株式会社
・株式会社滋賀銀行山東支店
・日本ガスケット株式会社滋賀工場
・ハマナカ繊維株式会社滋賀工場
・三菱樹脂株式会社山東工場
・名鉄運輸株式会社米原事業所
・ヤンマー農機製造株式会社
・レーク伊吹農業協同組合山東支店
・株式会社ヤマムログループ
有限会社マコトヤ
松下医院
有限会社馬庭長浜保険
丸真商店
株式会社丸善おくむら
株式会社三原モータース
有限会社山崎オートサービス
有限会社山田工作所
ヤンマー株式会社中央研究所
株式会社横田製作所
ライセル株式会社
利高工業株式会社
力興木材工業株式会社
緑土開発株式会社
レーク伊吹農業協同組合
和食すし処番野



相 談

・常時相談

社協職員が相談員として対応し、各関係機関と連携し継続的な相談支援を行います。

月～土曜日、午前8時30分から午後5時30分まで。

<問合せ> 米原市社会福祉協議会本部および社協各センター

・心配ごと総合相談

暮らしの困りごとや悩みごとの相談を受け付けます。

相談は無料。時間はいずれも10時～12時まで(相談受付は11時まで)で、相談時間は1時間程度。

相談員は、行政相談委員・人権擁護委員・民生委員児童委員(身体障がい者相談員・知的障がい者相談員が入られる日もあります)

<問合せ> 米原市 くらし支援課(山東庁舎) TEL: 55-8110

相談日	会 場
2月26日(火)	愛らんど(春照56)
3月12日(火)	ルッチプラザ(長岡1050-1)
3月26日(火)	近江公民館(顔戸1513)

・法律相談

法律に関する相談ごとで、解決の窓口となるよう弁護士が初回の相談に応じます。事前にお申込みください。

相談日	会 場
2月28日(木)	やすらぎハウス(顔戸21-2)
3月28日(木)	ルッチプラザ(長岡1050-1)

料金 1,000円。時間は10時～12時まで、1回30分以内。

<問合せ・申込み> 米原市 くらし支援課(山東庁舎) TEL: 55-8110



～成年後見人のための情報交換会～ ご案内

日時：3月19日(火) 13:30～15:15まで

場所：湖北福祉ステーション

(長浜市湖北町速水1860)

親族後見人や弁護士・司法書士・社会福祉士・行政書士等の専門職後見人を対象とした成年後見人の情報交換会を開催いたします。内容は成年後見制度についての話題提供と後見人同士の情報交換を予定しております。今後の成年後見活動がより一層充実することを目的とした情報交換会ですので、ご参加お待ちしております。



【申し込み・お問い合わせ】

米原市権利擁護センター(米原市社会福祉協議会内)

☎ 0749-54-3105

善意銀行だより

平成30年10月1日～平成31年1月15日
(敬称略)

〔金銭預託〕

朝湖会グラウンドゴルフクラブ(朝妻) 3,000円
JAレーク伊吹女性部 3,100円
匿名 3,836円

〔物品預託〕

国友工業株式会社 紙パンツ・紙おむつ・パッド
農業組合法人マザーフームうかの 米20kg
おおはら農園どろんこばたけ 里芋・さつまいも
カボチャ・BOXティッシュ・衣類
寺倉福祉会 さつまいも
真野 修 おはぎ
匿名 オイルヒーター
公明党長浜支部 ペットボトルキャップ
JAレーク伊吹女性部
米80kg・ペットボトルキャップ
大久保 善孝 甘酒 111缶
匿名 米60kg
匿名 米10kg・数の子・カニ缶
F 野菜
匿名 シャワーチェア・綿布団・敷布団・毛布・敷毛布



J A レーク伊吹女性部

※他季節のお野菜や果物をたくさん
いただき、ありがとうございました。
※市内福祉事業所にも配分しております。

平成30年度

(平成31年1月15日現在)
**社協会費・日本赤十字社活動資金の
ご協力ありがとうございました。**

●特別会費(企業・商店等より)

1,409,000円

11月号にてご報告後下記企業等よりご協力いただきました。
(敬称略)

- ・特定非営利活動法人ウェルメント
- ・認定こども園 チャイルドハウス近江
- ・ヤマブキ・工務店近江町営業所
- ・ローソン米原梅ヶ原店
- ・ACANext株式会社デイホームゆりの木米原
- ・びわ湖高齢者マンション悠悠の館
- ・滋賀近交運輸倉庫株式会社



●普通会費(市民・自治会より)

9,057,500円

●日本赤十字社活動資金(市民・自治会・団体より)

6,387,782円

こんにちは、米原市ボランティアセンターです！
市内で活動されるボランティアさんの声やボランティアに関する情報を皆さんにお届けしていきます!!

ボランティアさん ただいま活動中！

皆さん、「芸能ボランティア」をご存じですか？

芸能ボランティアとは、自分の趣味や特技として取り組んでいる踊りや音楽、読み聞かせや創作活動などを、地域のサロンやイベント、福祉施設等といった場で発表して参加者の方に見て楽しんでいただいたり、一緒に歌ったり、創作したり…といった活動をいいます。今回は、2つの芸能ボランティアさんを紹介します！

米原市のボランティア情報

まいボラ



K&I 近江よし笛クラブさん

皆さん、よし笛をご存知ですか？よし笛とは琵琶湖の西の湖に生える「葦（よし）」の茎で作られた縦笛で、滋賀県で創作された楽器です。

グループ名「K&I」のKは「KENKOU（健康）」、Iは「IKIGAI（生きがい）」を表しています。よし笛の演奏を通じて健康と生きがいをもって地域貢献できれば、という思いで活動をしています。学童クラブや地域のサロンでの演奏では「365日の紙飛行機」から「憧れのハワイ航路」まで、幅広い年代の方に楽しんでいただいている。演奏に合わせて歌っていただき、皆さんの元気な歌声に私たちも元気をいただきながら活動を続けています。



大道芸グループこほく玉ちゃん会さん

大道芸グループこほく玉ちゃん会と申します。現在長浜・米原・彦根市の各集落の行事、老人会、ふれあい生き生きサロン、各学区子ども会行事、デイサービス、病院、老人ホーム、障害者施設などを訪問し、大道芸を披露し、また、参加者の方々にも囲合し、バルーン、玉すだれを体験していただき、笑いと、楽しいひと時を過ごさせていただいている。町内各小中学校の総合学習やクラブ活動等の指導をしています。今後は、新規技などを取り入れた大道芸を身に着け、幅広く地域社会によりよく広め、皆様に喜んでいただけるように、活動いたしたいと思います。

☆演目 マジック◆腹話術◆囲合し
◆バルーンアート◆南京玉すだれ



☆ボランティアセンターには、現在42の芸能ボランティアグループさんが登録されており、地域から依頼があった場合にボランティアセンターを通じてご紹介させていただいている。ボランティアの依頼、または自分の趣味を活かしてボランティアをしてみたい！という方は随時受け付けていますので、お気軽にお問合せください！

問合せ先：米原市社会福祉協議会 米原市ボランティアセンター

米原市長岡1050番地1 米原市民交流プラザ・ルッチプラザ内

電話：55-3933

平成31年度

ボランティア活動保険のお知らせ

ボランティア活動中に起こったケガや
対人・対物の賠償責任を保障します。

年間保険料 基本タイプ ひとり350円

補償限度額 死亡保険金 1,040万円

後遺障害保険金 1,040万円

賠償責任保険 5億円

保険の詳しい内容については

社協窓口にあ尋ねください。

注)・複数の団体で重複して加入する必要はありません。

ひとつの団体ですべての活動が補償されます。

・補償期間は加入の翌日から翌年3月31日までです。

加入お申し込みは、

米原市ボランティアセンター・社協各センターまで

米原市ボランティア連絡協議会主催 視察研修事業

おもちゃ病院視察ツアー



見学に行きましょう

おもちゃ病院ってなに??

壊れたおもちゃを修理して子どもたちに喜んでもらい、物大事にする気持ちを感じてもらうのが“おもちゃ病院”です。

そこで活躍するボランティアさん（おもちゃドクター）のお話を伺ったり、修理の様子を見学しましょう。

日 時 3月16日（土）8時～16時30分頃

（8時ルッチプラザ発・8時15分ゆめホール発）

研修先 岐阜県美濃加茂市 おもちゃ病院
(美濃加茂市総合福祉会館)

参加費 無料（昼食代はご負担ください。）

定 員 30名（先着順）

締切り 3月9日（土）

手芸や工作、電気関係に堪能な方、子どもが好きな方、そのほかどなたでも参加できます。

皆様の参加をお待ちしています。

申込、問合せ先：米原市ボランティアセンター（55-3933）

いつもの生活に『ちよこっと』プラス！ Let's！ながら体操

毎日を気持ちよく生活するために、〇〇しながら
『ちよこっと』体操を取り入れてみませんか？
市内の専門家から簡単にできる体操を教わります！

今回体操を教えてくださる方は
デイサービスセンター
ゆめホール
本城 裕基さんです



今回は、座り仕事で疲れた時のリフレッシュ体操です。



- ①椅子やベッドの端などに腰掛けて、足を広めに開き両手をたらします
- ②鼻から息を吸って、ゆっくりと下をのぞき込むように体を倒します
- ③上半身の力を抜いて、腰から上半身を支えるように脱力します
- ④鼻から息を吸い、口から吐いて10秒程リラックス
- ⑤鼻から息を吸い、両手で後頭部を軽く押さえ、肩を10秒程伸ばす
- ⑥鼻から息を吸い、ゆっくり吐きながら体を起こします
- ⑦体を起こし、力を抜いて深呼吸



- ・体を倒して脱力するときは、腰から上半身をぶら下げているような感覚で、軽く目も閉じましょう。
- ・体を起こす時は、急に起き上がらずゆっくりと体を丸めながら起こしましょう。



法律・福祉・高齢・障がいなど

＼なんでも相談会 in 米原／ 開催のご案内

予約不要
相談無料

みなさんが抱えている心配ごと、悩み、不安などについて、弁護士・税理士・司法書士・社会福祉士・行政職員・社協職員他が相談をお受けします。

例えばこんな、ご相談・・・

- ・年老いた親の世話が大変で、仕事にも支障が出始めて困っている。何か良い方法はないか？
- ・50代の無職の息子と2人暮らし。私にもしものことがあると息子はどうなるのか心配。
- ・障がいのある娘。親亡き後、1人で生活していくために、利用できる制度を知っておきたい。

○日時：平成31年3月21日（木・祝）13:30～16:30
(相談受付時間13:15～16:00)

○場所：米原地域福祉センターゆめホール（米原市三吉570）

○対象：米原市在住の方

○お問合せ先：米原市社会福祉協議会 地域福祉課（相談支援担当）

TEL 0749-54-3105



子育てサークル紹介

今年度は、米原市で活動されている子育てサークルを紹介していきます♪

一 今月は多胎児サークル「twinkle」さんです

twinkleは、多胎児の親子を対象に、月に1度（第3水曜日）おうみ認定こども園の絵本室を借りて活動しています。

多胎児ならではの育児方法や悩みなどを話し合ったり、おもちゃで遊んだりして、交流を深めています。

昨年は、秋にローザンベリー多和田へ出かけ、多胎児サークルならではの賑やかで可愛い遠足になりました。

多胎児がいらっしゃる方、妊娠中の方もぜひ遊びに来てください。

2019年4月以降は、活動日・活動場所を変更するかもしれませんので、遊びに来られる際は、米原市社会福祉協議会（山東センター）

☎ 55-3933 にお問合せください!!



我が家のアイドル



ほうど ゆうか
法戸 夕夏ちゃん 1歳6ヶ月

毎日抱きしめたくなる、おもしろくてかわいい我が家ゆうかちゃんの大好きだよ♡

各種事業に関するお問合せ・お申し込み・ご意見は、下記の法人本部・各センターまで

法人本部

米原市三吉570番地 米原地域福祉センター ゆめホール内
TEL 54-3105 FAX 54-3115 maibarashi-shakyo@leto.eonet.ne.jp

山東地域福祉活動センター

米原市長岡1050番地1 米原市民交流プラザ（ルッチプラザ）内
TEL 55-3933 FAX 55-3933 m-shakyo-mishima@zd.ztv.ne.jp

伊吹地域福祉活動センター

米原市春照56番地 伊吹健康プラザ愛らんど内
TEL 58-1770 FAX 58-2231 m-shakyo-sishi@zb.ztv.ne.jp

米原地域福祉活動センター

米原市三吉570番地 米原地域福祉センター ゆめホール内
TEL 54-3110 FAX 54-3115 maibarashi-shakyo@leto.eonet.ne.jp

米原市の皆さんに役立つ子育て情報をご紹介

大きくなれ

今月のおすすめ情報

もうすぐバレンタインですね。バレンタインというと、昔はドキドキしながら好きな子にチョコをあげたなあなんて記憶もありますが…。今は友チョコなんて言葉もあり、普段からお世話になっている人に気軽にチョコをプレゼントする日になっていますよね。

そこで今月は、お子さんと一緒にできるとっても簡単なチョコ作りのススメです!!

『スプーンチョコ』



(※1)

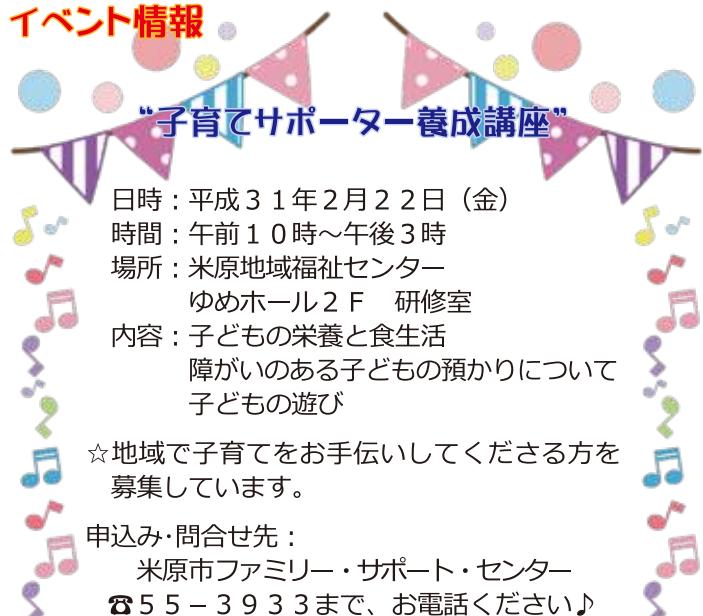
作り方はまあ!!簡単。まずはチョコをテンパリング。溶かしたチョコを、カラフルなスプーンに流し入れ、トッピングをするだけ。固まったら、ラッピングをすれば出来上がり!!

小さなお子さんでも一緒に作れますよ。

可愛いチョコを手に、家族や友達、お世話になっている方に感謝の気持ちを伝えてみませんか？

※1 テンパリング…なめらかでつやのあるチョコレートを作るために、チョコを一度溶かして温めたり冷やしたりすること。詳しいやり方はインターネットで「テンパリング」と入力して検索してみてください。

イベント情報



「子育てサポーター養成講座」

日時：平成31年2月22日（金）

時間：午前10時～午後3時

場所：米原地域福祉センター

ゆめホール2F 研修室

内容：子どもの栄養と食生活

障がいのある子どもの預かりについて
子どもの遊び

☆地域で子育てをお手伝いしてくださる方を募集しています。

申込み・問合せ先：

米原市ファミリー・サポート・センター

☎ 55-3933まで、お電話ください♪

近江地域福祉活動センター

米原市顔戸21番地2 近江地域福祉センター やすらぎハウス内
TEL 52-1463 FAX 52-8051
TEL 52-4393 m-shakyo-oshi@iris.eonet.ne.jp

- 文字が読みにくい等でお困りの方に毎号、「音の広報」として「広報てとて」をお届けします。ご利用希望の方はお気軽に問い合わせください。
- （「音の広報」は米原市内の音訳ボランティアの方が読み上げ・録音・編集されたものです。）

